

「クルーズ「日本海側ゲートウェイ・境港」プロジェクト」

地域限定通訳案内士の増加

現状

地域限定通訳案内士制度 ≡ 通訳案内士制度
⇒試験の実施等に膨大な労力が必要⇒事実上、活用が困難

境港での通訳案内士不足
⇒他地域(他都道府県及び海外)から旅行会社が手配

目標

地域限定通訳案内士の要件等を各都道府県知事が定め、運用できることとし、条例で定める

- ・外国語能力は外国語能力検定試験を準用し一定水準確保
- ・地理歴史等は研修受講による認定など、地域で要件を規定し、運用できるように制度改正

地域限定通訳案内士の増加 ⇒ **ガイド需要に対応可能**
地域の観光に精通した質の高いガイドの供給 ⇒ **観光客の満足度増加**



県外の通訳案内士の案内風景

入国審査の簡素化

現状

- ・船上入国審査基準の運用が2,000名以上の船に限定
- ・2,000名を超えても、通常の着岸後の入国審査を実施する場合もある

入国審査に長時間所要 ⇒ **実質的な滞在時間が減少**

目標

すべての外国クルーズ客船への船上入国審査の実施

入国審査時間の大幅短縮
→日本海側へのクルーズ客船寄港増加・乗客の満足度向上
→寄港地観光の時間増加による現地消費額の増加、ツアー商品の多様化
⇒**日本海側他県も含め日本海側へのクルーズが増加、地方活性化**



コスタビクトリア境港入港時

クルーズ「日本海側ゲートウェイ・境港」プロジェクト ～免税店の拡大～

- 訪日客が買い物しやすい環境整備のため、免税手続きの共同処理等による消費税免税店舗の拡大。

【現状及び課題・問題点】

- 事業規模が小さいことや事業者の高齢化などにより、免税店ごとに免税手続きや外国人旅行者の人的対応が困難。
- 免税手続きに必要な備品・資材の購入、機器の設置・改修など、免税店ごとに新たな費用負担が発生。
- クルーズ船の寄港時に臨時出店される免税店の許可について、出店の都度、申請することが必要。

【規制緩和・制度改革の提案】

- 観光エリア内の共同処理施設における免税手続きの実現
- 臨時的免税店の免税許可申請手続きの簡素化

【経済的・社会的効果】

- ◎ 免税手続きの集約化（エリア内共同処理）
事業者：人的・費用的負担の軽減
訪日客：一括した手続きにより煩雑さ解消
- ◎ 臨時出店の都度申請を省略
事業者：ビジネスチャンスへの即応
訪日客：効率的に名産品の大量購入が可能

■ 免税手続きの共同処理のイメージ

